

開講年度・学期	2017年度・前期	授業形態	講義
科目名	金融商品取引法	科目ナンバー	JAPRI3309
英語表記	Financial Instruments and Exchange Law	担当教員	北村 雅史 他
単位数	2		
科目の主題			
<p>金融商品取引法の下での有価証券の取引に関する法規制について講述する。具体的には、「証券取引規制の目的」、「証券市場の仕組みとその規制」、「資金調達手法とディスクロージャー制度」、「株式・公社債の発行・流通の法規制」などのテーマを扱う。この講義は、研究者と実務家による、オムニバス形式で実施する。</p>			
授業の到達目標			
<p>金融商品取引法の構造と目的、および同法に含まれる諸制度の内容を理解するとともに、有価証券取引実務についての基本的知識を得る。</p>			
授業内容・授業計画			
第1回	資本市場と証券取引規制の目的	担当者：北村 雅史	
第2回	金融商品取引法の概要		
第3回	金融商品取引所とは		
第4回	株式の上場・取引参加者制度	担当者：林 英生	
第5回	株式の売買・決済		
第6回	デリバティブとは（先物取引）		
第7回	デリバティブとは（オプション取引）等	担当者：三木 俊博	
第8回	金融商品の違法販売と法的救済の実際		
第9回	適合性原則－投資信託の被害事例を基に		
第10回	金融商品のリスクと説明義務		
第11回	有価証券報告書虚偽記載問題	担当者：吉井敦子	
第12回	証券会社におけるコンプライアンス		
第13回	金融商品取引法と民事法の交錯		
第14回	金融商品取引法と民事法の協働		
第15回	まとめ		
事前・事後学習の内容			
<p>各担当者からレジュメ・資料が配布される。各自、講義の概要をまとめるなど、復習を心掛けること。</p>			
評価方法			
<p>期末試験により評価する。</p>			
受講生へのコメント			
<p>商法第二部（会社法）を履修済みか並行して履修していることが望ましい。</p>			
教材			
<p>参考書：黒沼悦郎「金融商品取引法入門」（日経文庫）、河本一郎＝大武泰南「金融商品取引法読本」（有斐閣）。</p>			

その他

履修可能最低年次

3年次生以上